

## 第 1 4 回甲賀市総合計画策定審議会 会議録

---

**開催日時** 平成30年2月9日(金) 18:50から20:50まで  
**開催場所** 甲賀市役所 水口庁舎3階 会議室301A  
**出席委員** 新川会長、小坂副会長、赤堀委員、岡村委員、川端委員、  
田中直委員、中森委員、松田委員、丸山委員、薮下委員  
**事務局** 平尾総合政策部長、野尻総合政策部次長、出嶋室長、竜王課長補佐、  
清水主査、桑山主事、谷口主事、前田主事

**会議次第**

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項
  - (1) 第2次甲賀市総合計画実施計画について
  - (2) 国土利用計画(第2次)について
4. 今後の予定
5. その他
6. 閉会

**会議資料**

資料1. 第2次甲賀市総合計画実施計画(案)  
資料2. 施策体系について  
資料3. 第2次甲賀市総合計画の進行管理  
資料4. 甲賀市国土利用計画(第2次)

## 会議内容

### 1. 開会

### 2. あいさつ

新川会長：本日は、実施計画（案）について審議いただき。皆様には市民目線、関係する団体等の視点からご意見をいただき、市民の皆様に向けて、わかりやすい計画としたい。

### 3. 協議事項

#### (1) 第2次甲賀市総合計画実施計画について

新川会長：事務局より説明を求める。

事務局：資料1、資料2、資料3に基づき説明。

中森委員：包括外部監査は、平成31年度以降廃止とするのか。今回の職員の不祥事の件もあり、外部からの視点は重要である。また、忍者を核とした観光拠点施設も必要だと思うが、全体としての観光施策の目玉がない。今後4年間で確実に観光客を増やせるような取り組みが必要である。市道北土山猪鼻道路改良事業は、より多くの人に利用いただけるようトラバースロードまで延長して整備すべき。現計画では効果が上がらない。

事務局：包括外部監査は平成28年度より開始し、税および公共施設の外部監査を行ったところ。現計画では平成30年度において休止を予定しているが、ご意見を踏まえ検討したい。甲賀市への観光客は年間300万人程度（うち外国人観光客は1%程度）である。観光拠点の整備が目的ではなく、拠点を軸としたルートを設定するなど、モデル的な取り組みを展開したい。市道北土山猪鼻道路改良事業については、費用対効果を十分検討のうえ、判断したい。

田中直委員：甲賀まちぶら推進事業の具体的な内容を教えていただきたい。市内の様々なイベントの住み分けはできているのか。

事務局：平成30年は櫛野寺を軸として、様々なイベントをパッケージ化して発信したい。平成31年からは未定。

藪下委員：社会教育施設とコミュニティ施設の住み分けについて、「中央公民館を除く」と記載されているが、詳細を説明願う。また、全体を通して、安全・防災に対する事業が弱く感じる。

事務局：水口地域、土山地域では、公民館が学区ごとに設置されている。旧町ごとの中央公民館を維持しながら、その他の公民館の地域市民センターとの役割を整理し、機能を一体化させることを意図するもの。安全・防災に係る事業については、特に防災士の取り組みや消防団の再編等を重視している。ご意見を踏まえ、実施計画の中での位置づけを検討したい。

中森委員：土山町山内地域における指定避難場所は公民館である。しかし、エレベーターもなく、和室は1ヵ所のみ。大きな災害が発生した際に本当

に機能する避難所なのか。

- 事務局：地域区長会のなかでもご意見をいただいているところ。避難所のあり方については、危機管理課で検討を開始した。今後、議論を深めたい。
- 岡村委員：消防団再編の具体的な内容を教えていただきたい。消防団は地域の安全・防災を守る重要な組織。実情を認識したうえで検討しているか。
- 事務局：消防団の再編は、組織の合併や団員定数の整理も含めて検討しているが、防災力を低下させるような再編は考えていない。詳細は消防団を中心に検討いただくものであり、情報は適時市民の皆様にお知らせしたい。
- 岡村委員：(スマホ版) 防災マップが違う場所を表示する。また、水害に弱い場所が避難所として設定されている。見直しが必要ではないか。
- 事務局：担当課へ伝えさせていただく。
- 岡村委員：6次産業化・地産地消推進事業は、既に開発されている商品に対するものか。新たに開発される商品に対する支援か。また、有害鳥獣捕獲事業、獣害対策事業にニホンザル・アライグマ以外の獣害も含んでいるのか。
- 事務局：本市の6次産業化認定業者は県内でも多い。「あるもの活かし」の視点から、今いる農業者、今ある商品を中心に支援したい。有害鳥獣捕獲事業については、農業被害の多いシカ、イノシシも含んだ対策としている。
- 藪下委員：防災士の取組みについてだが、増やすだけではなく、区・自治会での役割が明確となるよう、行政がコーディネートすべきではないか。
- 事務局：防災士の取組みは重要。ご意見を踏まえ、庁内で検討したい。
- 岡村委員：自身が消防団の幹部当時は、防災士の講習が必須であった。以降、取組みが休止している模様。今後も実施すべきではないか。
- 事務局：状況を確認のうえ、庁内で検討したい。
- 川端委員：地産地消を給食で推進していくことが重要。地元農家の活性化や子どもたちへの食育についても効果大きい。給食センター施設は「大規模」ではなく、「小規模」だからこそ、臨機応変に対応できる面もあるのではないか。
- 事務局：材料の確保や価格の面で、給食における地産地消については進んでいない。ご意見のとおり重要な視点であり、検討を進めていきたい。
- 川端委員：地域おこし協力隊の成果はどうか。平成30年度で終了となっているが、その後のフォローはどうか。また、起業支援とあるが、個人への支援か、もしくは地域への支援となるのか。
- 事務局：国の制度を活用した起業支援(100万円)を想定している。定住につなげるためにはフォローが重要。しっかりと調整したい。支援の方法については国ではなく、市に任されている。隊員、地域と相談のうえ制度を運用したい。
- 川端委員：無料乗車券はコミタクについても対象となっているのか。

- 事務局：コミタクについても対象となっている。
- 岡村委員：給食における地産地消について、生産農家としては、B級品が必ず出てしまう。不恰好でも安全・安心な野菜であることには変わらない。市場で評価されない野菜を給食等で利用してはどうか。
- 事務局：ご意見を庁内で共有のうえ、検討したい。
- 丸山委員：多文化共生の推進のため、外国の方に対する支援が必要。地域活動への参加を希望されている方も多いが、まだまだ活かせていない。また、結婚支援に国際結婚への視点を含んではどうか。
- 事務局：人口減少が進むなか外国籍の方の活躍は本市にとって強みになる。外国籍の方への支援はさらに推進していきたい。また、国際結婚の視点については検討させていただく。
- 松田委員：公衆無線LANは、避難所を中心に設置するとのことだが、観光における無料Wi-Fiの需要は高い。公共施設プラスアルファの設置が必要ではないか。また、観光に関する事業は多くあるが、特にDMO・日本遺産関連施設整備は、市民や団体に見えない。観光資源もバラバラに見えており、一元化された情報になっておらず、わかりにくい。情報発信の手法を再考してはどうか。全体的に、事業はたくさんあるが、全て内向きである。外向きに効果的にPRする必要があるのではないかと。選ばれる甲賀市にするための投資が必要である。
- 事務局：1点目のWi-Fiについては、平成29年、平成30年は避難所を中心に設置し、その後は観光施設への設置を検討している。Wi-Fiについては、あいコムこうかを活用していく。DMOについては、「観光による稼ぐ力」を備えた自立した組織体を考えており、観光協会との住み分けや組織の再構成も必要と考えている。観光情報の見せ方については、今後さらに検討したい。全体を通して、シティセールスを進めるためには発信力への投資も必要と認識している。強化したい。
- 丸山委員：文化振興推進事業については、アールブリュットの取り組みに期待している。
- 新川会長：各委員より様々なご意見をいただいた。事務局においては、各委員からの意見を参考にし、関係各課との調整等をしっかりお願いしたい。なお、結果については、審議会の方に報告をお願いする。それでは、協議事項の第2次甲賀市総合計画実施計画についてのご意見以上としたい。他にご意見があればお願いする。

— 特に意見なし —

## (2) 国土利用計画（第2次）について

- 新川会長：事務局より説明を求める。
- 事務局：資料4-1、4-2に基づき説明。
- 中森委員：期間を13年としているが、計画どおり進めていけるのか。さらに、

具体的な部分はなく、抽象的な表現ばかりである。道路について、緑化を行うと記載してあるが、道路緑化をしているところはない。将来展望がイメージできない。

事務局：各担当課と調整し、検討させていただく。

中森委員：資料4-2の1ページに「国道1号のルーツとなる東海道は9世紀に整備され～」とある。これは、9世紀にどこまで整備されたのか疑問に思う。整備ではなく、「886年に東海道阿須波街道が開通し～」という表現にしてはどうか。整備という言葉は誤解が生じる。

事務局：検討させていただく。

新川会長：国土利用計画については、計画の必要性についても専門家のなかで議論がある。計画の策定にあたっては、都市計画マスタープラン、森林整備計画および農業振興計画等を反映された形で、中身を詰めていくべき。プロセスについても関係各課と調整願う。他にご意見があれば願う。

— 特に意見なし —

事務局：第2次国土利用計画（素案）に対し、ご意見等があれば、後日、メールやFAX等でお願う。

#### 4. 今後の予定

新川会長：事務局より説明を求める。

事務局：次第に基づき説明。

新川会長：今回は、8月頃に当委員会を開催し、施策の評価に取り掛かっていただく。第2次甲賀市総合計画の最初の大きな評価という事になるかと思う。是非ご協力いただきたい。他にご意見があれば願う。

— 特に意見なし —

#### 6. 閉会

小坂副会長：長時間の議論お疲れ様でした。本日の協議事項にもある、実施計画の感想も含めて最後の挨拶とさせていただきます。

時代が求めている住民目線の政策もあったが、行政の自己満足の内容も多いと感じた。今後は、事務局より説明があったように何度も見直しをかけ、さらに良いものに作り上げていきたい。各委員においては、今後とも協力をお願いする。

事務局：実施計画については、平成30年度の予算を反映させた形で送付させていただく。以上で審議会を閉じさせていただく。本日はありがとうございました。

以上